

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	山鳩保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 19 年 11 月 26 日

総 評	<p>同一法人下に3保育園と1高齢者デイサービス事業を有している山鳩保育園は昭和47年、法人初の児童福祉施設として設立されました。現在、定員は250名で八幡市では唯一の一時保育事業を行っています。これら事業の現況からも、法人とそれを支えてきた人々の地域福祉に対する使命感と情熱の大きさを感ずることが出来ます。</p> <p>保育内容については「雑草のようにたくましく、道端の可憐な花のようにやさしく愛らしい子に」をスローガンに、研究的保育実践をつづけています。</p> <p>今後、園が力を注いできたそれらの内容について、保護者がさらに理解を進めること、より親密な子育てのパートナーシップを築くことが望まれることでしょうか。これまでに培ってきた、園長を筆頭に職員の一入ひとりが繋がり合うという実践が活かされることを期待します。</p> <p>全般的に明確な理念のもと保育所運営を実施されており、子どもを健全に育てるという信念を感じさせてくれる保育園です。</p>
特に良かった点(※)	<p>園の理念と保育方針が園長のリーダーシップのもと職員に浸透し、子どもたちの知・情・体の育成を重視した取り組みが職員研修を通じて園全体に徹底されています。保育目標に掲げる子どもたちがたくましく、そして愛らしく育ててほしいという思いが、毎朝の体育ローテーションや日課などの一貫した内容からも感じることが出来ました。</p> <p>また、子ども一人ひとりの状態等についても、毎朝のミーティングやケース会議において職員間で共有する仕組みがあり、園全体で子どもを見るという姿勢があります。</p> <p>食育についても、毎日の献立に登場する素材の中から野菜等展示可能なものについて子ども目線で展示したり、野菜の栽培を保育実践研究として発表する等、優れた取り組みが見られました。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>さらなる子育て家庭の支援と保護者と保育者相互の信頼関係の構築に向け、現在、希望者のみに実施している個人面談を定期的に全保護者対象に取り組まれることを望みます。</p> <p>また、緊急時の対応など利用者の安全確保のための体制については、現状実施している報告や改善記録の取り組みをそのままマニュアルに落とし込むことで、より園の実態に即したマニュアルになることでしょうか。全般的にその他マニュアルについても同様のことが言えます。これまで培ってこられた山鳩保育園の保育文化をより明確にされることを期待します。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	山鳩保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年11月26日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

・理念・基本方針は、園の保育姿勢に沿った内容で作成されています。これらは、各保育室や掲示板に掲示されているとともに毎月の職員会議で唱和し、職員全員が理解を深めるように努めています。保護者に対しては、入園時に説明するとともに、入園のしおりに記載し、配布しています。

・事業計画は策定されており、利用のしおりに明記され職員、入園時に保護者へ配布しています。

・園長は毎朝、職員ミーティングや園児対象の朝礼を実施しており、園の理念を実践に浸透する為に管理者としてのリーダーシップを発揮しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

・必要な人材に対する基本的な考え方や方針が確立しています。保育士の経験年数を考慮し、各年齢クラスごとに主担任と副担任をバランスよく配置しています。また、男性保育士の採用や同一法人傘下の保育園との人事交流を行い活性化を図っています。

・仕事についての悩みや課題について率直に話し合える人的環境づくりの一環として、施設横断的な職員グループ＝姉妹グループを作っています。リーダー職員のもとに自主的に集まった10名ほどで構成されており、定期的にミーティングを開催しています。会議録からは、日々の保育や作業の改善策を検討し改善に努めていることが確認出来ました。内容は全職員で回覧・周知しています。

・毎月1回、園内研修を実施し職員の知識、技術等の向上に努めています。園外研修の内容も、研修報告を全職員が閲覧するしくみがあります。実技を伴う内容などは、園内研修で発表し全職員に周知しています。

・実習生や体験学習などのボランティアを、積極的に受入れています。今後は、実習生・ボランティア受入れに対する意義・方針を明文化し、職員間で意思統一を図られることを望みます。

・子どもの安全確保のために、ヒヤリハット、遊具の安全点検、事故記録簿などによる情報収集を行い、対策を講じるとともに職員間での周知徹底も行われています。このような実践例をもとにマニュアルを作成されるとなっております。

・園児による合唱や和太鼓等の発表を地域の行事等で行っています。また、地域の子どもたちへの園庭開放や八幡市で唯一の一時預かり保育を実施しています。

・地域に同一法人傘下の高齢者デイサービス事業を運営していることや待機児童対策をおこなっていることから、地域の福祉ニーズに積極的に応えようとする姿勢がうかがえます。また施設間で利用者同士の交流が実施されています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

・保護者意見箱の設置や保護者アンケートの実施、それに対する回答を配布・掲示するなどの取り組みを実施しています。また、年2回、保護者のクラス懇談会や保育参加の機会を設け、子どもたちの保育園での様子や保育の内容について理解を深めるための取り組みを行っています。一方で、個別面談は希望者のみとなっていますが、全保護者対象の個別面談を実施されるとなおります。

・個人情報に関し、マニュアルを整備し、具体的な配慮を行っています。しかし、現行マニュアルは一般的なものですので、今後は園の実践事例を用いて、マニュアルを加筆・改善されることを望みます。

・利用者を尊重する保育サービスの基本姿勢が明示されています。また、保育内容の質の向上にむけ、毎朝の職員ミーティングや姉妹グループ、全職員での会議や園内研修を実施しています。その内容は掲示板を通じてパート職員を含め全員に伝わるように配慮されています。

・子どもが安心して保育園生活できるように、定期的に子ども一人ひとりについてケース会議を開催しています。また、保護者からの重要な案件や報告なども毎朝の職員ミーティングで連絡され職員全員に周知されています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	山鳩保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成19年11月26日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- ・保育計画は、適切に策定されており、それに基づいた指導計画の評価も定期的実施しています。
- ・登園時や保育中の一人ひとりの健康管理をマニュアルに則り適切に実施しています。
- ・アレルギー疾患をもつ子どもに対しての代替食や誤食を防ぐための工夫を実施しています。毎日の給食の食材を展示し、子どもや保護者へ食育に対して感心が持てるよう工夫しています。
- ・検食簿によって、毎日の検食や子どもの喫食状況の把握に努め、食育会議で献立などの作成に生かしています。
- ・保護者に対し、試食会を開き保護者の意見を反映するよう努めています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ ささまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

・各部屋とも、きめ細やかな掃除チェック表があり、また清掃責任者を各部屋ごとに配置し、掃除の方法についても一定水準が保持できるようにしています。乳児の部屋には絨毯や畳を用いています。ただ、乳児室の温度計、湿度計は子どもの高さに合わせるとなお良いでしょう。3歳以上児は午睡の代わりに午後には休息を摂っています。

・「動きとことばとリズムのくり返し」を日課とし、乳児から幼児まで一貫して実践しています。また、朝の体育ローテーションでは子どもたちは、薄着でかけっこや鉄棒、ボールなど様々な運動あそびに取り組んでいます。集団参加を望まない子どもについては、保護者と相談の上、別メニューを用意しているとのことでしたが、参加しない子どもが固定化しないように配慮するとなお良いでしょう。

・年長児が、乳児クラスのお手伝いに行き、乳児の世話や面倒を見る機会を設けています。

・朝早い登園の乳児に対し、朝の手作り軽食を用意して提供しています。口拭きタオルも、園で消毒した暖かいものを使用します。また、ミルクに関しても家庭で使用されているものと同じミルクを飲めるよう配慮しています。

・障害児保育に対しても積極的に取り組んでおり、障害のない子どもの障害児への関わりに対しても配慮しています。設備面では、定員増による改修に伴う段差などを改善するとなお良いでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	非該当
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当

【自由記述欄】

・日常の情報交換に加え、懇談会や、保護者の保育参加など共通理解の機会を設けており、家庭状況や保護者との情報交換の内容は必要に応じて記録しています。ただ、駐車スペース等の問題もありますが個別面談を希望者だけでなく全ての保護者に対して実施されることを望みます。

・虐待に関して、早期発見・早期対応を関係機関との連携のもと適切に行っています。

・一時保育は、通常保育との関連に配慮し、年齢に応じた対応を心がけています。

・調理場・水まわりの衛生管理についてのマニュアルとチェックリストに一般的なものを流用しています。衛生管理については職員に周知徹底されていますので、実践を通じてマニュアル等の整備をすとなお良いでしょう。